

第2回 SDGS-ID 公開シンポジウム

COVID-19から見えてきた 総合知の必要性

2022年 3月19日(土)
13:30-16:00 (Zoom)

先着500名
参加無料

参加登録

<https://forms.gle/MuTjvuexF5VUucUo7>

登録締切：3月17日(木) 17:00



科学技術の進歩により、この2年間の間にCOVID-19に対しては検査・治療薬・ワクチンなどに多くの進展があった。しかし、先進国においてはワクチンが広く接種されているにも関わらずパンデミックの収束は見通せない状態が続き、ウイルスによる直接の健康被害だけでなく社会全体にさまざまな問題を引き起こしている。医学・公衆衛生だけでは解決できない問題となったCOVID-19の課題を克服するためには、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた学際的な総合知が必要である。東北大学では「感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点」を立ち上げさまざまな分野の研究者との議論を重ねてきた。本シンポジウムでは、COVID-19から明らかになったさまざまな課題に対し我々は何をすべきなのか、これからを担う若い世代の研究者とも意見交換をしながら、ビクピクチャーを描く。

ファシリテーター



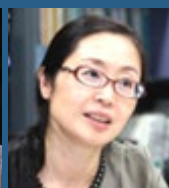
瀬名秀明 作家。東北大学大学院薬学研究科在学中に『パラサイト・イヴ』でデビュー。『インフルエンザ21世紀』をはじめ著書多数。『NHK 100分de名著『アーサー・C・クラークスペシャル ただの「空想」ではない』』で第52回星雲賞ノンフィクション部門受賞。(撮影=佐々木隆二)

パネリスト



押谷仁

東北大学大学院
医学系研究科教授
SDGS-ID拠点長



大隅典子

東北大学副学長
東北大学大学院
医学系研究科教授



小坂健

東北大学大学院
歯学研究科教授
SDGS-ID拠点員



木村敏明

東北大学大学院
文学研究科教授
SDGS-ID拠点員

プログラム

13:30-13:40 オープニング 石井直人
東北大学大学院医学系研究科教授

挨拶 小谷元子
東北大学理事・副学長

13:40-15:55 パネリストによる対談

ファシリテーター 瀬名秀明

パネリスト 押谷 仁
大隅典子
小坂 健
木村敏明

指定発言者 坂井舞 (東北大学大学院医学系研究科助教)
湯田恵美 (東北大学CDS助教)

質疑応答

15:55-16:00 クロージング



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点 (SDGS-ID)

■拠点Web : <http://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp> ■お問合せ : sdgs-id@med.tohoku.ac.jp



東北大学 社会にインパクトある研究 -C3感染症超克 http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/c3_infectious_disease.html